

令和4年度 新潟市農業活性化研究センター試験成績書

研究課題	秋冬期における一、二年生草花の展示栽培（マトリカリア）
背景・ねらい	新潟市では晩秋から早春にかけて出荷できる切花品目が少ないため、秋冬期における無加温ハウスで栽培が可能な品目・作型等を検討し、切花出荷期の拡大を図る。
担当者	海津 朋之, 山口 次郎, 渡邊 一彦
研究期間	2020～（3年目）

1 目的

秋冬期に無加温ハウスで栽培が可能であり、需要が高い品目を展示栽培し、当該期に球根以外で種苗費が安く換金可能な草花類（秋播き二年草）の新品目導入のための資料とすることを目的とする。

当該品目は、本来は秋播きで春咲きとされているが、昨年度までの2か年の試験において夏播き秋冬咲きの作型を検証し、採花できることが示された。ただし、品種によっては、本試験で想定している年内採花ができず、また、採花できた品種においても採花残りがあった。

今年度は耕種を一部変更して効率的に採花できるかどうか検証した。

2 方法

(1) 試験場所：農業活性化研究センター内鉄骨ハウス4

(2) 供試品種：マトリカリア（5品種）

アマゾン	（黄八重）	<ミヨシ>
シャンパン	（白一重）	<ミヨシ>
バヤ	（白八重）	<フクカエン>
ダブルラテ（パルセニュームシリーズ）	（白八重）	<ムラカミシード>
クラウンホワイト（パルセニュームシリーズ）	（白ポンポン咲）	<ムラカミシード>

(3) 試験区の構成・規模

各品種 20株（10株×2反復）

(4) 耕種概要

ア 播種・育苗：7月14日，200穴セルトレイ，50%遮光ハウス

イ 定植：8月16日

ウ 栽植様式：畝幅80cm，条間20cm，株間20cm，4条植え（25,000株/10a）

エ 施肥：基肥（kg/10a）N-P₂O₅-K₂O=10-10-10
追肥 生育の状況を見ながら適宜施用。

オ 電照：定植直後より日長延長（日没後～PM10:00）

カ 摘芯：なし

(5) 調査項目

採花日，採花本数，切花長，莖径，節数，側枝数，花径，切花重

3 結果の概要

(1) 全ての品種で発芽・生育は良好であった。

(2) 採花日はダブルラテが最も早く，10月1日となり，次いでシャンパン，バヤ，アマゾンの順となり，クラウンホワイトは最も遅く11月13日となった。

(3) 切花長は到花日数の最も短かったダブルラテが43.4cm，次いでバヤ，シャンパン，アマゾン，クラウンホワイトとなり，品種の傾向はおおむね到花日数の短さと同様となった。

4 考察とまとめ

本試験では、本来秋播きで春咲きのマトリカリアを夏播き秋冬咲きの作型で栽培した。酷暑期の播種・定植栽培であるため、育苗時の遮光などを行った。昨年の試験では7月15日播種，8月24日定植としたが，今年度は定植を一週間程度早め，また昨年実施した摘芯を行わず栽培を行った。

平均採花日はダブルラテが最も早く10月1日となり，次いでシャンパン，バヤ，アマゾンとなった。クラウンホワイトは最も遅く11月13日となったが，昨年までの試験では年内採花ができなかったことから，今年度の耕種とした場合は早い時期に採花が可能であることが示唆

された。

切花長はダブルラテが 43.4 cm, アマゾンで 64.2 cm となり, 昨年度試験において多くの品種で平均が 100 cm を超えたことに比べると顕著に低い値である。ただし, 採花率は高く, 到花日数は昨年と比べて 2/3 程度となった (例アマゾン到花日数 R3:150.4 R4:95.6) ことから, 小さめの切花が好まれる出荷とすることや栽培コスト等次第で栽培設計をすることができるものと推察できる。加えて, 本年度の耕種で到花日数を短縮が可能であったことから, 2 期作も可能ではないかと考えられる。また, 耕種を変えたことで採花期が前進したことにより一部の品種において切り下から 2 番花の採花が可能であった。次年度以降も引き続き耕種を変え検討したい。

表 1 マトリカリア切花結果

品種名	採花率 (%)	採花日			到花日数 (日)	切花長 (cm±S.D.)
		平均	開始	終了		
アマゾン	100.0	10/17	10/5	10/24	95.6 ±4.3	64.2 ±4.5
シャンパン	98.9	10/5	10/3	10/24	83.7 ±3.6	58.2 ±3.1
バヤ	100.0	10/8	10/3	10/17	86.8 ±3.6	44.2 ±3.4
ダブルラテ	100.0	10/1	9/29	10/5	79.6 ±2.3	43.4 ±2.0
クラウンホワイト	92.1	11/13	11/7	11/21	122.3 ±4.4	79.9 ±3.5

品種名	切花重 (g±S.D.)	花径 (cm±S.D.)	茎径 (mm±S.D.)	節数 (節±S.D.)	側枝数 (数±S.D.)
アマゾン	41.8 ±8.8	2.0 ±0.1	4.3 ±0.3	25.4 ±2.9	13.3 ±2.0
シャンパン	38.3 ±5.5	2.0 ±0.1	3.8 ±0.4	23.0 ±2.9	12.4 ±1.2
バヤ	30.1 ±3.5	1.9 ±0.1	3.9 ±0.3	24.6 ±2.5	13.1 ±1.3
ダブルラテ	20.4 ±2.9	2.6 ±0.1	3.3 ±0.3	20.1 ±2.5	11.9 ±1.2
クラウンホワイト	97.1 ±32.0	1.5 ±0.1	5.2 ±0.3	43.3 ±2.7	24.7 ±2.6

(n = 20)



図 1 切花 (左:ダブルラテ 右:クラウンホワイト)